

「蛍と水」

私は奈良県の山添村という村に住んでいます。人口が少なく、コンビニもスーパーもない村ですが、たくさんの自然に囲まれたすてきな所です。

そんな山添村で小さいころ毎年夏休みに蛍を近くの田んぼまで見にいってました。車のライトを「チカチカ」させると蛍もおしりを光らせて車の方へよってきます。そして車の窓を開け、蛍を中に入れて遊んでいました。あの幻想的できらきらした夢のような形式は今でもおぼえています。

しかし、私が見ていたものはあたり前の景色ではなかったのです。都会へ行くかどうかでしよう。夏休みに蛍が見れない人はたくさんいます。それは水が原因なのです。水が汚れていると、蛍の量は減っていくのです。今、日本の水はどんどん汚くなってきて

山添村立山添中学校 二年

井窪 芽衣

います。くすんで汚れた色をした川や海を見かけませんか。川が汚れていると私たちが使う水道水にも影響がおよびます。なぜなら私たちが使う水道水は自然から来ているからです。つまり今、蛍が減っていることは生活していくなかで大変な事なのです。何十年か過ぎてもし、蛍がない水が汚れている世の中になっただけなら、その時代を生きる人々はどうなってしまうのでしょうか。

私たちが水をきれいにするというのは今を生きる人々だけではなくて、これからの未来を生きる人々の生活にもつながっているのです。今はきれいな水をつかえていますがこのままだと、みなさんが思っているより危険なことになってしまいます。川の水というのは海に流れこむため、川が汚れば海も汚れます。そして、水が汚れば海が赤くなる赤潮

が発生したり、海中の魚たちが酸素不足で住めなくなったりします。それだけ水というものは人間にも生き物にもかかせないものなのです。つまり、私たち人間が水をきれいにしていかなければいけないのです。

例えば、食べ残した油ものや、飲み残したスープを台所で流したり、捨てたりしていませんか。実はスー一杯分を流すことによつて水そう四杯分の川や海を汚すことになってしまいます。私はこの事を知ってかなりびつくりしました。ふだんあたり前のように流していたカップメンの残った汁も水を汚す大きな原因になっているからです。

すると私たちが水をきれいにするために来ることがみつかってきました。まず、できるだけ食べ物や台所に流さないことが出来ま

す。「これぐらい大丈夫だろう。」と、思い台所に流すとその少しの水だけ何十億人の人が日本にはいるのだからほとんど人は汚れていくのです。なので、国民一人一人が心がけると水は少しづつかもただけできれいなになっていきます。一人一人が心がけて毎

日生活するというのはとても大切な事なのです。

「じや口をひねるとききれいな水が出る」というのは、日本のすばらしいところだと思ひます。しかし、蛍が減っているという事は水が汚れてきているという事です。水が汚れるとご飯もつくれない、お風呂にも入れないなど私たちが生活していく中で重要な事ができなくなります。なので自分に出来る事を考え行動にうつしていかなければなりません。そうすること、きつと、夏になると蛍があらわれ、水が美しいすてきな国になっていくと思ひます。